

- ☆ 2015 春季生活闘争
- ☆ 2015 春季生活闘争
- ☆ 2015 新春のつどい
- ☆ 第18回統一地方選挙 組織内候補者紹介
- ☆ 第18回統一地方選挙 推薦候補者一覧
- ☆ 組合役員教育プログラム 2015年開講予定 / 愛のキャンパ
- ☆ 第9回幸せさがし文化展募集 / 2月の行動日程
- ☆ あけぼのビル

2015春季生活闘争

～賃上げで景気の底支えを! 「休み方」「働き方」改革で長時間労働撲滅!～

1月7日(水)第2回執行委員会において、「2015連合埼玉春季生活闘争方針」を確認した。

「2015春季生活闘争では、すべての組合が重点的に取り組む課題として「賃上げ」、「時短」、「政策・制度実現の取り組み」を「3本柱」として位置づけ、これらの取り組みをつうじ「底上げ・底支え」、「格差是正」の実現と、「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」に向けて全力を尽くす。」という連合の基本的な考え方にに基づき、すべての組合が月例賃金にこだわり2%以上の賃上げを求め、また、中小共闘は10,500円以上の要求を掲げることとなる。

連合埼玉は、すべての働くものの生活を守ることを目的に、ミニマム運動の経営団体への要請行動や中小・地場組合の支援をおこなっていく。また、未組織労働者の処遇改善に波及する運動として「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」キャンペーンにおける労働者保護ルール改悪阻止の運動などと連動して、あらゆる不条理と闘う取り組みを推進していく。

連合:具体的な要求項目(抜粋)

	「デフレからの脱却」「経済の好循環実現」に向けて	「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けて
賃上げ	<ul style="list-style-type: none"> ■ すべての組合が月例賃金にこだわり、2%以上の賃上げを求める 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中小共闘は10,500円以上の要求を掲げるとともに、「最低到達基準」を設定し、この水準を上回ることとする ■ 非正規共闘は、正社員との均等処遇をめざす ■ 職場における男女平等の実現をはかる
時短	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長時間労働の抑制などワーク・ライフ・バランス社会の実現をめざす ■ 総実労働時間1800時間への取り組みを加速する ■ 36協定特別条項の上限時間設定に関する協議を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中小企業における労働時間週44時間を40時間に縮減 ■ 中小企業超過労働時間割増率について、月60時間超過分を50%とする
政策・制度実現の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済の好循環に向けた産業政策と雇用政策の一体的推進 ■ 雇用の安定と公正労働条件の確保 ■ 非正規公務員の処遇改善と公契約適正化の推進 	

連合埼玉の取り組み

- (1) 構成組織・加盟組合の交渉支援として、県内の経済情勢の解説、企業の財務諸表の捉え方などを含めた春季生活闘争パワーアップセミナーを開催する。
- (2) 街宣行動や経営団体への要請をつづじて、中小・地場組合やすべての働くものに労働条件の向上が波及できるよう取り組む。また、各地域においては地域協議会と連携した展開をはかる。
- (3) 埼玉県ミニマム賃金を設定して幅広くPRすることで、賃金の底上げと格差是正の必要性を訴える運動につなげていく。
- (4) 春闘方針や交渉状況などの情報を共有し共闘の強化をはかる。



具体的な活動予定

1) 春季生活闘争パワーアップセミナーの開催

日時: 2月1日(日)・2月8日(日)
 場所: あけぼのビル会議室
 内容: 連合春闘方針、連合白書
 県内の経済情勢について
 春闘の進め方
 財務諸表の捉え方

2) 世論喚起街宣行動

- ① 1次行動 春闘開始宣言
 日時: 2月10日(火) 18:00～
 場所: 浦和駅(西口)
 参加者: 連合埼玉執行部、構成組織
- ② 2次行動 ミニマム賃金/交渉状況アピール
 日時: 3月10日(火) 18:00～
 場所: 大宮駅(東口)
 参加者: 労働政策委員会、女性委員会、構成組織
- ③ 4次行動 中小・地場組合解決促進アピール
 日時・場所: 3月 24日(火) 熊谷駅(北口)
 3月 25日(水) 南越谷駅(南口)
 3月 26日(木) 川越駅(東口)
 3月 27日(金) 大宮駅(東口)
 各 18:00～
 参加者: 連合埼玉事務局
 各ブロック担当副会長・執行委員
 各ブロック地域協議会
- ④ 「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」街頭
 宣伝
 日時: 2月12日(木)～17日(火)
 3月11日(水)～17日(火)
 場所: 県内各地

3) 世論喚起駅頭行動(各地域協議会)

- ① 1次行動
 一斉労働相談アピールおよび春闘開始アピール
 日時: 2月10日(火)～17日(火)
 場所: 県内各駅頭
 参加者: 各地域協議会
- ② 2次行動 ミニマム賃金アピール
 日時: 3月10日(火)～17日(火)
 場所: 県内各駅頭
 参加者: 各地域協議会

4) 賃金底上げミニマム要請行動

- ① 経営団体への要請行動(連合埼玉)
 日時: 3月9日(月)～12日(木)
 要請先: 埼玉県経営者協会、経営三団体
 参加者: 労働政策委員長、連合埼玉事務局
- ② 商工会などへの要請行動(地域協議会)
 日時: 3月23日(月)～3月27日(金)
 要請先: 各地域商工会議所など
 参加者: 地域協議会三役など

5) 春闘情報の共有化による共闘強化

- ① 春闘方針・HPを活用した情報提供
 提供先: 構成組織、地域協議会
 (一般に公開できる情報は広く開示する)

早期に20万人達成で、連合の求心力向上を!

連合埼玉2015新春のつどい



主催者挨拶:小林直哉会長

1月7日(水)ときわ会館にて、374名の参加のもと、2015新春のつどいを開催した。

主催者代表挨拶で、小林直哉会長は、今年の最大の課題は「STOP THE格差社会」の取り組みで、今年の干支の羊にかけて「安倍政権の運営は羊頭狗肉(実質や内容が見かけと一致しないこと)の状況にある」とし、政権運営の見た目にだまされずに運動していくことが重要と指摘した。組織拡大の課題では「羊の群れのように組合員を20万人に増やすことで、政策や春闘で成果が出ると確信している。それが連合運動の求心力にもつながる」とあいさつがあった。

ご来賓のあいさつで、上田清司埼玉県知事は、「埼玉県は、人口とGDPが全国で5番目という活力のある県だが、地方交付金なしではやっていけない。しかし国に頼るだけではなく、みずから産業を興し雇用を作って、経済の循環を作っ

ていくことが重要」と挨拶をいただき、その後、宮本重雄埼玉労福協副理事長、清水勇人さいたま市長、阿部充埼玉労働局長、大島あつし民主党埼玉県連代表にも挨拶をいただいた。

また、埼玉経営者協会の西村和義会長にもご臨席を賜り、「いま、非常に厳しい社会環境にあり、戦後70年のなかで崖縁にあるような気がする。しかし、厳しいと言うだけでは前に進まない。新しい市場環境を作り上げなければならないが、問題は何か新しいかが重要である。次世代のために明るい希望・勇気・光が見える社会を作っていきたい。連合とともに頑張りたい。」と挨拶をいただいた。

今回の新春のつどいでも、被災地の復興を少しでも後押しをしたいという思いから、用意した料理や抽選会の賞品の一部に、被災地域の物産品を取り入れた。

また、県内避難者の支援およびふれあい募金として、会費等の収入の20%と、当日会場で皆さまからご協力をいただいた63,282円の募金をカンパ金に充てさせていただく。



連合埼玉の関係団体代表による鏡割り



本年は、多くの首長の皆様にもご臨席いただきました

来賓あいさつ



上田清司
埼玉県知事



清水勇人
さいたま市長



宮本重雄
埼玉労福協副理事長



阿部 充
埼玉労働局長



西村和義
埼玉県経営者協会会長



大島敦
民主党埼玉県連代表

第18回統一地方選挙

2015年1月7日現在

組織内候補者

埼玉県議会議員

南第13区 上尾市・伊奈町



畠山 稔 65才
(JAM埼玉)

西第1区 所沢市



水村 篤弘 41才
(UAゼンセン)

西第7区 川越市



山根史子 31才
(UAゼンセン)

北第5区 熊谷市



田並 尚明 49才
(JP労組)

さいたま市議会議員

東第8区 越谷市



山本 正乃 55才
(自治労)

大宮区



西山 幸代 55才
(埼玉教組)

中央区



高柳 俊哉 53才
(埼玉教組)

緑区



神崎 功 59才
(UAゼンセン)

市町村議会議員

川越市



片野 広隆 39才
(UAゼンセン)

熊谷市



松本貢市郎 60才
(電機連合)

熊谷市



黒澤 三千夫 52才
(電力総連)

東松山市



関口 武雄 55才
(JAM埼玉)

狭山市



内藤 光雄 50才
(自動車総連)

越谷市



石井 孝幸 62才
(埼玉教組)

毛呂山町



岡野 勉 59才
(埼玉教組)

第18回統一地方選挙推薦候補者

2015年1月7日現在

■埼玉県

選挙区	候補者名
南第1区 草加市	山川百合子
南第2区 川口市	菅 克己
南第4区 さいたま市北区	高木 真理
南第6区 さいたま市見沼区	井上 将勝
南第9区 さいたま市浦和区	浅野目義英
南第10区 さいたま市南区	木村 勇夫
南第11区 さいたま市緑区	松岡 耕一
南第13区 上尾市・伊奈町	畠山 稔
西第1区 所沢市	水村 篤弘
西第5区 ふじみ野市・三芳町	宮崎 克彦
西第7区 川越市	山根 史子
北第4区 深谷市・美里町・寄居町	江原久美子
北第5区 熊谷市	田並 尚明
東第8区 越谷市	山本 正乃

■市町村

選挙区	候補者名
川越市	片野 広隆
	高橋 剛
	山木 綾子
熊谷市	松本貢市郎
	黒澤三千夫
川口市	光田 直之
所沢市	赤川 洋二
	石本 亮三
	島田 一隆
加須市	小林 信雄
東松山市	関口 武雄
狭山市	内藤 光雄
越谷市	石井 孝幸
	大石美恵子
和光市	菅原 満
	小嶋 智子
鶴ヶ島市	高橋 剣二
ふじみ野市	民部 佳代
毛呂山町	岡野 勉

■さいたま市

選挙区	候補者名
さいたま市	西区 池田 麻里
	北区 小川 寿士
	大宮区 熊谷 裕人
	見沼区 三神 尊志
	中央区 高柳 俊哉
	桜区 阪本 克己
	浦和区 小柳 嘉文
	南区 浜口 健司
	緑区 神崎 功
	岩槻区 高野 秀樹

= 組織内候補者



連合埼玉推薦
候補者全員の当選を
めざして頑張ろう!

2月より、「2015年度組合役員教育プログラム」開講します!

労働組合役員として、企業内対応のスキルならびに客観的な判断力を身に付けていただくため、①学習による人材育成、②人材交流による人材育成、の2つの観点から人材育成を進めていくことを目的に、今年度も下記の講座を開講いたしますので、構成組織ならびに加盟組合の皆さんの積極的なご参加をお願いいたします。なお、「実務講座」は3月上旬、「スキルアップ」は5月中旬より受講生募集をおこなう予定です。「基礎講座」は募集受付中

基礎講座

時間 10:00~17:00
会場 あけぼのビル(⑤⑥のみ「ときわ会館」)

- ①労働組合の意義と機能
- ②組合役員の立場と役割
日 時:2015年2月14日(土)
- ③組合員のためのコミュニケーション力開発
- ④会議の進め方(職場討議・集会の進め方)
日 時:2015年2月18日(水)
- ⑤これだけは知っておきたい労働法(初級)
- ⑥健全な労使関係と働き方のルール(中級)
日 時:2015年2月21日(土)
- ⑦労働組合の社会的役割
- ⑧埼玉県の労働福祉運動の役割
日 時:2015年2月25日(水)

実務講座

各講座 時間 13:00~17:00
会場 あけぼのビル

- ⑨三六協定の実務(時間外労働と休日労働)
日 時:2015年5月20日(水)
- ⑩団体交渉・労使協議の進め方
日 時:2015年5月23日(土)
- ⑪組合が取るべき経営対策活動とは?
日 時:2015年5月27日(水)
- ⑫メンタルヘルスと職場での取り組み方
日 時:2015年5月30日(土)
- ⑬キャリア開発(より良い働き方を考える)
日 時:2015年6月3日(水)
- ⑭ミッション・ビジョンの重要性(過去から未来へ)
日 時:2015年6月6日(土)

スキルアップ 今年度より新たに開講!

時間 下記参照
会場 あけぼのビル

- ⑮プレゼンテーション(納得性を高める伝え方)
日 時:2015年7月25日(土)13:00~17:00
- ⑯組合広報誌の作り方(文書の書き方)
日 時:2015年7月29日(水)10:00~17:00
- ⑰組合役員のためのコミュニケーション力開発②(アサーション)
日 時:2015年8月1日(土)13:00~17:00
- ⑱組合役員のためのコミュニケーション力開発③(コーチング)
日 時:2015年8月26日(水)10:00~17:00
- ⑲会議の進め方②(ユニオンファシリテーション)
日 時:2015年9月2日(水)10:00~17:00
- ⑳イベント企画の立て方とその運営
日 時:2015年9月5日(土)13:00~17:00

連合埼玉は「連合・愛のキャンパ 地域助成」を受付けます!

【目的】

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むもので、NGO・NPO団体などの事業・プログラムへの支援、および自然災害などによる被災者に対する救援・支援を目的としています。

【対象となる社会貢献活動】

- | | |
|-----------------------|-------------------------------|
| 1. 大規模災害などの救援・支援活動 | 6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動(除くスポーツ) |
| 2. 戦争や紛争による難民救済などの活動 | 7. 医療や福祉などの活動 |
| 3. 人権救済活動 | 8. 地域コミュニティー活動(レクリエーション活動を除く) |
| 4. 地球環境保全活動 | 9. 生活困窮者自立支援活動 |
| 5. ハンディキャップをもった人たちの活動 | |

【地域助成の応募対象】

連合組合員およびその家族、あるいは退職者が、積極的にNPOなどの運営に参加している団体が行う事業・プログラムとします。

また、地方連合会が日常的な活動で連携している、NPO等団体がおこなう事業・プログラムとします。(構成組織が推薦する場合も地方連合会へ申請して下さい)

※詳細については、連合のホームページをご覧ください <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>
※ポスターについては、1月下旬を目途に構成組織に送付します



第9回連合・ILEC 幸せさがし文化展 募集要項

応募資格

どなたでも応募できます。

応募料

必要ありません。

募集期間

<俳句・川柳の部>

2015年2月1日(日)～5月15日(金)

<絵画・写真・書道の部>

2015年4月1日(水)～5月15日(金)

趣旨

「連合・ILEC 幸せさがし文化展」は、日頃から、創作活動に励む、働く仲間とその家族が、作品を発表する場として開催します。絵画・写真・書道・俳句・川柳の5部門で、作品を募集します。組合関係者に限らず、学生の方、一般の方からのご応募もお待ちしております。

内容

- ①絵画・写真・書道・俳句・川柳の公募
- ②優秀作品の表彰
- ③入賞作品の展覧会
- ④入賞作品集の作成

発表

2015年7月1日(水)

- ①各部門の入賞者をILECのホームページで発表します。
- ②2015年7月上旬に入賞者のみに書面で通知します。



お問い合わせ
社教育文化協会(略称:ILEC)
<http://www.rengo-ilec.or.jp>

幸せさがし文化展



現在予定される2月の日程表です

2月	行事等	
	連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日 日	2015春季生活闘争「パワーアップセミナー」(10:00～16:30・あけぼのビル3F)	運輸労連「2015年旗開き」(18:00～・鬼怒川観光ホテル)
2日 月	①第1回政策・制度委員会(9:30～・連合埼玉会議室) ②第1回組織委員会(15:00～・連合埼玉会議室)	民主党埼玉県連「2015新春の集い」(18:00～・ホテルプリランテ武蔵野)
3日 火		
4日 水	公職選挙法学習会(13:30～・浦和ロイヤルパインズホテル)	川口・戸田・蕨地域協議会「新春祝賀会」(18:30～・太陽サバービル「江南春」)
5日 木	第1回広報委員会(10:30～・連合埼玉会議室)	
6日 金		①埼玉労福協「第5回企画委員会」(10:00～・ときわ会館) ②2015年度中央労金埼玉県本部全体集会(13:30～・ラフさいたま)
7日 土		
8日 日	2015春季生活闘争「パワーアップセミナー」(10:00～16:30・あけぼのビル3F)	
9日 月		連合労働相談基礎講習会(14:00～ 10日12:00・ホテルベルクラシック東京)
10日 火	①第3回四役・執行委員会(10:00～・ときわ会館) ②2015春闘開始宣言(18:00～・浦和駅西口)	連合「アドバイザー研修会」(13:30～ 11日11:00・ホテルベルクラシック東京)
11日 水		
12日 木	全国一斉労働相談ダイヤル(～2/14)	①第30回北方領土返還要求運動埼玉県民会議平成26年度第2回役員会・総会(13:30～・あけぼのビル502) ②県民大会(15:00～・あけぼのビル501)
13日 金		
14日 土	組合役員教育プログラム①②(10:00～・あけぼのビル)	
15日 日		
16日 月		①連合「第4回最低賃金全国担当者会議」(14:00～・連合会館) ②北埼玉地域協議会第1回幹事会(18:30～・羽生市民プラザ)
17日 火		
18日 水	組合役員教育プログラム③④(10:00～・あけぼのビル)	
19日 木		埼玉労協理事会(10:00～・ときわ会館)
20日 金		関東ブロック「政策担当者会議」(13:30～・山梨)
21日 土	組合役員教育プログラム⑤⑥(10:00～・ときわ会館)	
22日 日		
23日 月		
24日 火		
25日 水	組合役員教育プログラム⑦⑧(10:00～・あけぼのビル)	
26日 木	埼玉シニア連合第2回幹事会(15:00～・連合埼玉会議室)	
27日 金		
28日 土		

あけぼのビル

事務局長 佐藤 道明

◇公助から自助・共助への転換

少子・高齢社会の進展や環境問題の深刻化などにもない、市民の公共サービスに対するニーズは多様化し、その対応のために膨大な行政コストが必要になっている。このような状況から、従来の「公助」に頼ることなく、市民の「自助」を基調とした市民主体の社会の実現が望まれるようになってきた。さらに、度重なる災害などの教訓からも「共助」の必要性が唱えられている。このような社会の構築に向けた新たな流れを生み出す原動力として、新たな公共の担い手であるNPOの役割が期待されている。

労働組合の活動においても、組合員のニーズが多様化する中で、従来のように労使協議だけでは解決できないことが増加している。少子高齢社会においては、ますます地域の大切さが求められ、子育てや介護など地域で解決しなければならない課題が山積している。また、退職後の地域での生活・暮らしや市民活動などへのサポートの必要性も求められている。私たちの生活の安定・向上のためには、市民社会と連帯・協働するネットワーク型の福祉運動を進め、地域での支えあい・助け合いの「共生の地域社会づくり」に積極的に参画し、その役割を發揮していくことが必要である。

◇「ネット21運動」が生まれた背景

連合埼玉が結成された1989年は、バブル経済のピークにあたり、大企業では毎年、大量の新規採用がされるなど、今では想像できない雇用環境にあった。しかし、グローバル化やIT化の進展などに伴い、1992年のバブル崩壊と同時に、日本経済は一転して構造不況に陥り、1ドル90円台に突入するなど急激な円高に見舞われ、人件費の安い中国を中心とした東南アジアへの工場移転など、産業の空洞化が起こった。また、多くの企業では国際競争力強化の名のもとに大規模な雇用調整による人員削減や、従業員の福利厚生部門のアウトソーシングなどがおこなわれた。

このような構造変化は、成長を前提とした「企業依存型の生活保障システム」の崩壊をも意味し、これまでの「賃上げ要求」などの対産業・企業を中心とした組合活動のあり方にも大きな課題が投げかけられた。時代の変化に対応する「大胆な発想と運動スタイルの転換」が求められ、働く者の生活や暮らしを生涯にわたってサポートする運動や子育てや介護問題をはじめ、地域社会で解決しなければならない様々な問題に取り組むために、個別企業の枠を越え、共に

支えあう「共生の地域社会づくり」を積極的に展開する労働運動・労働者福祉運動が求められた。

連合埼玉はこのような時代背景の中で、2004年4月に「出会い・つながり・支えあい」をキーワードに、①共生の地域社会づくりへの積極的参画、②勤労者の生涯サポート活動、③市民社会との連帯と協働、に取り組む運動として「ネットワークSAITAMA21運動(略称「ネット21運動」)」をスタートさせた。

「ネット21運動」は、「新しいカタチの労働運動・労働福祉運動」として、埼玉県内の様々なNPOや市民団体への支援と連携をつづじて、働く者と地域の市民が出会い、互いにつながり、働く者や市民の暮らしをともに支え合う「共生の地域社会」をめざす運動である。

◇「共に考え、共に行動する」活動への転換

NPOは行政の持つ公平性や企業の持つ利潤追求という社会的価値にとらわれず、社会的課題に対して迅速で先駆的な取り組みができるとともに、それぞれの多様な価値観と人間性に基づく自由な意思により、個別的で柔軟な社会サービスの提供が可能である。また、こうした取り組みから社会への問題意識を持ち、行政や企業に対して市民の立場からチェックし、独自の提言をおこなうことができる。このような活動組織と労働運動が、さらに連帯・協働を進めるためには、NPOへの支援活動を中心とした現在の活動から、「共に考え、共に行動する」活動へと転換していくことが必要である。

従来の地域社会におけるコミュニティの弱体化によって、「安全と安心の国」から「不安と不信の国」へと日本の安全神話が崩壊しつつある。労働運動が新たな地域社会づくりの主体として、その力を發揮するためには労働運動が培ってきたノウハウを地域へ解放していくことが必要である。働く者や生活者が地域の課題に気づき、それを皆で共有化し、課題解決に向けての方策を見つけ、解決に乗り出していくというプロセスがこれからの地域社会づくりには重要である。各々のNPOの狭く深い活動とその経験を労働運動の政策制度改善要求につなげることができれば、労働運動の政策立案能力もさらに向上し、働く人や生活者に共感を得られる運動の強化につながっていく。さらに、労働運動が持つ政治や行政との関係をNPOと結びつけることで政策実現能力の向上も期待できる。

職域運動の労働組合と地域運動のNPOの協働を進め、地域を新たな制度や仕組みにつながる「種」を生み出す場、社会変革の実践の場とするために「ネット21運動」を前進させていかなければならない。

2015.1.23